

製品名: リン酸化 BCAR1 (Y410) (17X7) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe05859**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	人間
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000
分子量	93kDa

抗原情報

遺伝子名	BCAR1 BCAR 1; Bcar1; Breast cancer anti estrogen resistance 1 Breast cancer anti-estrogen resistance protein 1; CAS; Cas scaffolding protein family member 1; CAS1; Cass1; Crk associated substrate; Crk associated substrate p130Cas; CRK-associated substrate; CRKAS; p130cas;
別名	
遺伝子 ID	9564.0
SwissProt ID	P56945

免疫原

ヒト BCAR1 の Tyr410 周囲の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

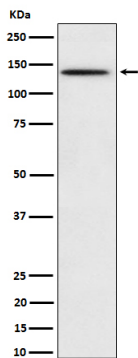
背景

細胞接着に関連するチロシンキナーゼをベースとしたシグナル伝達において中心的な役割を果たすドッキングタンパク質。細胞遊走の誘導に関与。過剰発現は乳がん細胞に抗エストロゲン抵抗性を付与する。細胞接着に関連するチロシンキナーゼをベースとしたシグナル伝達において中心的な役割を果たすドッキングタンパク質 (PubMed:12832404, PubMed:12432078)。細胞遊走および細胞分岐の誘導に関与 (PubMed:12432078, PubMed:12832404, PubMed:17038317)。BCAR3 を介した TGF β シグナル伝達阻害に関与 (類似性による)。

研究分野

シグナル伝達、タンパク質リン酸化、チロシンキナーゼ、がん

画像データ



過バナー細胞溶解物で処理した HeLa 細胞における Phospho-BCAR1 (Y410) 発現のウエスタン ブロット分析。